

三好市立下名小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 30名

- ② 学校教育目標・校訓・めざす子ども像
 - ア 学校教育目標
心豊かにたくましく生きる児童の育成
 - イ 校訓
「正しく ゆたかに たくましく」
 - ウ めざす子ども像
 - 思いやりのある子
 - 進んで学ぶ子
 - 最後までがんばる子

- ③ 環境目標・テーマ
「地球にやさしい学校にしよう。」

2 行動方針

- ① ゴミを分別します。
- ② リサイクルを進めます。
- ③ 節電と節水に努めます。
- ④ 地域の清掃活動に努めます。

3 行動

- ① ゴミを分別します。



【ゴミの分別】

校内から出されるゴミを燃えるゴミ・資源ゴミ・燃えないゴミなどに分別している。



【下名小学校 校舎全景】

下名校区には、清流吉野川と湊谷美で有名な大歩危峡などがあり、春秋の観光シーズンには多くの観光客が訪れる観光地である。国道32号線の高知県との県境に位置し、学校周辺には、JR大歩危駅や郵便局、公民館、駐在所など公共施設がある。近隣の小学校の休校にともない、校区も広がり児童数も増えている。児童は、バス通学・タクシー通学・徒歩などで登校している。

全児童数は30名〔6学級〕、PTA戸数は24戸である。



- ② リサイクルを進めます。



【児童委員会の啓発活動】

環境委員会の児童が、啓発のためのポスターを作って、校内に掲示し呼びかけている。

③ 節電や節水に努めます。



④ 地域の清掃活動に努めます。



【学校周辺の清掃活動】



【玄関の環境コーナー】

【月別電力使用量と水道使用量のグラフ】



【棚田での田植え】

4 具体的効果

- ◆ 電力使用量・水道使用量をグラフ化し、児童玄関の目につくところへ掲示することにより、児童が積極的に節電・節水に対して、より関心を持って取り組むようになった。
- ◆ 児童が続けている【節電・節水・ゴミ減量】が地球温暖化防止に役立っていることを知り、今後の取り組みへの意欲づけとなっている。
- ◆ 学校周辺の清掃活動をすることで、通学路上のゴミ拾いを進んでできるような児童が育ってきた。

5 改善点

- ◆ 使用電力・水の使用量については具体的な削減数値目標を設定したが、ゴミの減量に関しては数値目標の設定ができなかった。今後はゴミの減量についても児童が関心を持って取り組みやすい目標設定を考える必要がある。
- ◆ 取り組みによって、地球環境にどのように貢献できるか、低学年の児童にもわかるような環境プログラムや掲示等の仕方を工夫したい。
- ◆ 地域の方と一緒に取り組む活動として、地域に残る棚田の保存活動を行っていて、田植え・稲刈り・餅つきを続けている。
- ◆ 家庭への効果的な啓発の仕方を工夫し、学校でも家庭でも環境問題に積極的に取り組む態度を育てたい。